

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 26 日

評価対象事業		評価者	教育指導課長 太田 洋	
教育-31	コミュニティスクール整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育指導課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	生涯学習課
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	教育内容・環境の充実

1 事業の目的

対象	市立小・中学校の児童生徒等
意図	輝く子供たちの未来の創造に向け、学校と地域がパートナーとして連携した取組を進めるため。
効果	学校・家庭・地域が一体となってよりよい教育の実現を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

- ・鎌倉版コミュニティスクール設置に向けた検討委員会の開催
- ・令和4年度設置校に向けての管理職研修会の開催

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	鎌倉版コミュニティスクールの周知	講師謝礼、周知資料印刷製本費	—	— / 0	— / 156	— / 196	
02	鎌倉版コミュニティスクールの実践	令和4年度開始	実践校(校)	— / 0	— / 0	4 / 1,675	
03				/	/		
04				/	/		
05				/	/		
06				/	/		
07				/	/		
08				/	/		
09				/	/		
10				/	/		
		財源内訳	国県支出金	/	/		
			地方債	/	/		
			その他特定財源	/	/		
			一般財源	0 / 0	156 / 156	1,871 / 1,871	
			事業費の合計(千円)		0 / 156	156 / 156	1,871 / 1,871
			人件費(千円)		2,276	5,380	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.0	0.3	0.7			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	鎌倉版コミュニティスクールの周知	必要に応じ実施するため、指標の設定になじまない。	コミュニティスクールへの移行を円滑に進めるための事業であり、学校運営の円滑化と社会に開かれた教育課程の実現に必要であることから、妥当である。	各地域での特徴を生かしたコミュニティスクールを実践するため、関係者への情報共有が課題である。導入予定校においては、講師を招いた説明会を開催して事業の狙いを周知するとともに、各地域との情報共有を図る。
02	鎌倉版コミュニティスクールの実践	令和4年度開始 令和7年度に全校で実践できるよう計画的に事業を進めるため、予定している実践校を指標とした。	令和4年度開始	令和4年度から第二・手広中学校区において鎌倉版コミュニティスクールを実践し、令和5年度以降も順次実践校を増やしていく。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・変更 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>令和4年度の第二・手広中学校区でのコミュニティスクール実践に向け、検討委員会を開催するとともに、学校向け研修の実施など関係者への制度周知に努めた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域関係者向けの説明会を中止し資料配布に変更するなど、十分な周知ができたとは言い難い状況であり、令和4年度以降も引き続き制度への理解が深まるよう努める必要がある。令和5年度以降も順次実践校を増やしていく予定であり、事業規模の適切な拡充が必要である。</p>	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--